



夢花だより

発行元
社会福祉法人なごみ福祉会
夢花事業部
発行責任者 中村 行啓
〒214-0036
川崎市多摩区南生田4-12-3
TEL/FAX 044-976-3703
<http://www.nagomi-yumehana.com>

新年度にあたり

【記事ラインナップ】

- 1P. 「新年度にあたり」
夢花事業部部長 梶山則行
- 2P. 「各管理者より新年度に向けて」
- 3P. 「行動援護従業者養成研修のご報告」
「研修報告」
- 4P. 「各部門より活動報告」
・夢花工房の活動報告
・夢花工房ぼぱいの環境整備
・夢花工房よりお知らせ
・職員紹介

【トピックス】

【事務所移転のお知らせ】

児童デイサービスドリーム、ヘルパーステーション夢花の事務所が移転します。新しい事務所にて、より一層、利用者様のため、地域のために、邁進してまいります。今後ともどうぞよろしく申し上げます。移転先はすぐ近所です。詳細は以下の通り。

■移転予定：4月末

■新住所：多摩区南生田4-12-5
武信（とんかつ屋）建物の地下



こちらの建物の地下1階になります

【永年勤続表彰式】

今年度も永年勤続表彰式を行いました。勤続年数が5年に到達した人が対象です。

対象者：8名



「今後の活躍を期待していますよ！」「はい！」

〈新年度の事業部方針〉

1、法人理念「共に生きて、共に育つ」を基礎として、全ての事業運営を行い、事業と組織に関する法令順守を徹底します。

①各事業に関する障害者総合支援法等の運営基準や規程の順守

②障害者虐待防止法、障害者差別解消法と関係法令の順守

③労働基準法、働き方改革関連法等と関係法令の順守

2、自然災害の発生時の対応、防犯防災等の安全管理に万全を図ります。

新たな年号がスタートする節目の時に、平成の時代を振り返り、「全国各地で大規模な自然災害が発生した事」、「世界各地で紛争があっても日本では戦争のない平和な時代であった事」等が、様々に取り上げられています。

障害福祉事業においては「措置から契約へ」に象徴されるように、制度が大きく変更され、必要な法律が様々に整備されました。「誰もが地域であたりまえの暮らしができる」を目標に取り組んで来た、なごみ福祉会の理念は変わりませんが、社会情勢の変化や社会福祉法の改正等により、福祉事業を担って来た組織や、そこで働く人たちの意識や働き方にも多くの変化が求められている事を実感します。

当事業部の事業所では、平成25年の10月に労働基準監督署の現地調査が行われ、その指導を前提に労働環境の改善に取り組んで来ました。さらに本年2月22日には、神奈川労働局から事業所に職員が派遣され、平成31年4月から施行される「働き方改革関連法」に定められた内容に対して、どのように取り組もうとしているかについての調査と、指導がなされました。

その主な項目は、職員の①時間外労働の上限規制 ②年次有給休暇の確実な取得、となりますが、今後、法律に定められた基準を全うしなければ、法人に罰則が科せられ事となります。

今、多くの職場で人手不足が社会問題となっている状況で、当事業部でも担い手不足は深刻な課題です。法人の理念を実現する為に、時には制度の枠を超えて必要な支援に向き合ってきた実践と、働く人の労働状況をその枠内で適切に管理する事は、事業所に課せられた大きな難題です。

神奈川労働局からいただいた指導と提案書には、現実的な対応策として「職員の多能化」を図る事がありました。障害福祉制度のそれぞれの事業に定められた規程や基準を順守しながら、職員が複数の仕事をいつでもカバーできるように、各自の職能の範囲と専門性を高める事は、事業部で継続的に模索してきた事です。取り組み方は間違っていないようです。

法令を守る事は当然として、事業所に求められている役割を果たす為に、各自が自主的に重荷や責任を背負い、苦労を厭わない姿勢を持つ事で、「共に育つ」事が出来ると信じて、日々の業務に真剣に向き合う事ができれば幸いです。

平成31年4月

夢花事業部部長 梶山則行



【 各部署の方針や体制などについて一言 】

なごみ生活ホーム 男子



川端 智

なごみ生活ホーム
管理責任者

今年度の生活ホーム方針として、各ホームの適切な環境整備と改善を加えながら、利用者一人ひとりへのサービスの向上と、安定した生活に向けた取組みを進めて行きたいと考えております。

個々の支援をより良いものに進めるために、利用者のご家族に寄り添い、一緒に喜怒哀楽を感じながら、信頼性を築き上げていければと考えております。

又、本人の「したいという思い！」を大切に汲み取り、どのようにすれば「その思い」に近づき、達成出来るかをチームとして考え、支援の組立てをしていきたいと考えております。

新たな一年、利用者の皆さんが地域の中で幸せに暮らせるように職員一同、力を合わせ励みたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

児童デイサービス ドリーム



平田 香緒里

児童デイサービス
ドリーム
管理責任者

新元号も決まり日本の新たな幕開けですね。ドリームもそれに倣えと新しい取り組みを行います。

これまでドリーム2は、児童デイサービスドリームの従たる事業所として運営してまいりましたが、4月より独立した事業所として登録します。

また、現場により近い場所への事務室の移転、職員の勤務をシフト制に変更、事業部内の他部署への派遣勤務も実施します。児童から成人、日中から夜間、ケースファイルの積み上げによるスキルアップを目指す一職員の柔軟な思考力が、特性に応じた個別支援を実現する現場力に反映できると考えます。今後とも、新体制ドリームをどうぞよろしくお願い致します。

なごみ生活ホーム 女子



中村 光世子

女子ホーム
管理責任者

春。桜の季節がやってきました。

ホームに居住されている方々に進級や入学はありませんが、行事を通して季節を感じてもらえる一年にしていきたいと思っています。

そして、法改正など変わっていく福祉社会の中で、しっかりとした意識や職務に対する姿勢を職員間で話し合い共有していける女子ホームでありたいと思います。そのために、この一年も全職員と共に力を合わせていきます。

夢花工房 ぽぱい



長島 恵

夢花工房
ぽぱい
副施設長

夢花工房は、4月より新卒の利用者様を1名迎え、総勢60名でのスタートとなります。

今年度の目標は、まず夢花工房自慢の自主製品の製作販売の拡大です。利用者様にとってやりがいのあるお仕事の提供、また工賃アップにもつなげていきたいと考えています。

もう一つは、夢花事業部のバックアップ施設として、より専門性の高い職員の育成です。積極的に職員を内外部の研修に送り出し、勉強する機会を設けます。

職員一丸となって取り組みますので、どうぞよろしくお願い致します。

ヘルパーステーション夢花



金山 晶

ヘルパーステーション
夢花
管理責任者

2019年のヘルパーステーションの方針としては「見直し」です。すでに国会でも取り上げられていた、外国人労働者の受け入れの動きにみられる日本の労働人口の減少や、働き方改革の1つの柱である「長時間労働の是正」、そしてまさにこの4月からはじまる「有給休暇の義務化」は、今あるヘルパーステーション夢花の事業の展開に大きな影響を与えます。事業部内の連携を行い、さらに事業の「見直し」を行っていくことで、サービスの継続を行っていきたくと考えています。

事務局



岩本 健志

事務局
局長

新年度を迎え、年号も新しくなり、消費税も上がる？とか、「変化」の多い1年になりそうです。

そのような社会の微妙な「変化」の故に、自分たちの環境も慌ただしくなってしまうかも知れませんが、そういう時であるからこそ、利用者様のみならず、職員の皆様にも、落ち着いた「安定」した環境を整えるために、汗をかいて行きたいと思っています。

行動援護従業者養成研修のご報告

祝 なごみ福祉会主催がした記念すべき第1回目の研修です

2018年12月に、なごみ福祉会が神奈川県より行動援護従業者養成研修課程の指定を受け、当法人施設のホール（あゆ工房）を会場として、無事に研修を終えることができました。

今回26名の受講生に参加していただき、約27時間のカリキュラムを3日間で駆け抜けました。受講された皆様、本当にお疲れ様でした。これから職場に戻り、益々のご活躍を心よりお祈りしております。

いただいたアンケートには「非常に有意義だった」「新しい知識・経験を蓄積する機会になった」「気持ち、見方、考え方、問題意識、価値観にかなり変化があった」などなど、たくさんの嬉しい感想をいただきました。

講師の方をはじめ、協力してくださった関係機関の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

利用者様が、地域で当たり前暮らせる社会の橋渡し役として、今後もお役立ちできれば幸いです。

文：中村行啓

【 研 修 最 終 日 の 様 子 】



最後に、ファシリテーター、講師の方々、飯島理事長より、熱い激励のメッセージをいただきました。



研 修 報 告

ア メ ニ テ ィ ー フ ォ ー ラ ム に 参 加 し て

研修名：第32回アメニティーフォーラム 参加者：5名 主催：アメニティーフォーラム実行委員会

日程：平成31年2月8日（金）～10日（日）

内容：障害者の地域生活を推進していくための、全国的なネットワークを作ることを目的に、毎年2月に滋賀県大津市で行われています。全国から1,500人を超える人たちが参加されます。



フォーラム会場の様子

【 感 想 】

講義を通じて、利用者様にとっての幸福とは何か、また支援者の思い込みや偏見で尊厳を軽んじる様な対応をしてはいないか、リスクを懸念するあまり、利用者様の主体性を蔑ろにしてはいないかなどと振り返りつつ、我々支援者は、利用者様の自己実現のために誠意を持って尽くさねばならないという事を、改めて感じた次第です。また社会がより成熟していくためには、人命の尊さを生産性で押し量る事はあってはならない事であり、お互いの個性を尊重し支え合う所に共生という関係が生まれ、いつの日にか「障害」という概念さえ消えていくのだと願います。その為にはまだ世間の理解は不十分であり「共に生き、共に育つ」というなごみ福祉会の理念を実現する為には利用者様が積極的に地域社会に関わっていけるよう支援者も一層働きかけながら同時にしっかりと情報を発信していかなければならないと感じました。

文：赤埴 聖将

1月～3月活動報告

【夢花工房の活動報告】

今年の2月3日は春のような暖かい日でした。南生田小の4年生の皆さんと工房のパークッションチーム「ドリームフラワーズ」とのジョイントコンサートは、もう20年以上続いている行事です。お互いに演奏を披露し交流しています。私たちには毎年のことですが、児童の皆さんには一生に1度だけのこと。「普段交わらない人とも音楽でつながったことがあること」「みんな同じ地域で暮らしていること」をなんとなく覚えていただけたら幸いです。先生方、児童の皆さん楽しい時間をありがとうございました！

文：安藤陽子



「風になりたい」を力の限り演奏しました♪



演奏するときのポイントは…楽しむこと！！



演奏終了後に花束をいただきました！



南生田小の皆様より素敵な歌のプレゼント

【夢花工房の環境整備】

夢花工房食堂横の黒扉を開けるとスロープになっています。そこを上るとアコーディオンカーテンの入り口まで、荷物置き場、男性更衣室、女性更衣室が並んでいました。2019年2月、環境整備の工事を行った結果、荷物置き場→男性更衣室、男性更衣室→女性更衣室、女子更衣室→新部屋に生まれ変わりました。換気窓にロールカーテンもつけられ、光の調節も出来ます。新しく出来た白い壁は、ピンが刺さる仕様になっており、これからどのように使っていくのか自分も楽しみです。

文：横山利教



新しい部屋へ向かうスロープです



あとと便利！ロールスクリーン



大量の荷物置き場になっていた場所を整理して、壁を作りその中を部屋にしました。見た目もきれいになりました！！

SHOP

川崎市民ミュージアムで 夢花工房木製品の販売が始まりました

川崎市中原区の等々力緑地内にある川崎市民ミュージアムのショップで、夢花工房の木製品を販売して頂くことになりました。

今はお箸、菜箸、箸置きを並べています。お箸はシンプルなものだけに、夢花の利用者様のていねいな手磨き作業が活かされています。

箸置きは、動物をモチーフにしたデザインを、熟練した糸ノコ加工担当の利用者様が切り抜いた作品。それを時間をかけてみんなで手磨きして、最後に植物性オイルで仕上げられています。

市民ミュージアムは常設展の他にも、最近では手塚治虫さんなど貴重な漫画原画の展示の企画展でも話題の美術館です。

障害者手帳をお持ちの方と付添者の方は無料とのことです。詳しくはミュージアムにお問い合わせ下さい。



川崎市民ミュージアムの販売風景



「お箸」と「箸置き」。3月はお陰様で完売いたしました！



箸の作成風景です。ひとつひとつ丁寧に仕上げられています。

夢花事業部 職員紹介

①名前(所属) ②特技・趣味 ③一言お願いします♪



①水野 真吾 (ドリーム2)

②デジタル関係、新しいIT関係には特に興味を感じて欲しがります。

③支援をする際、自分よがりにならないよう、常に周りの人に意見を求めることを心がけています。

『私ならできる』は危険な考え、『誰もができる』まで組み立てることが出来て初めて支援方法として成功、を常に心に置いて日々仕事をしています。

編集後記

さあ、新しい年号が決まり、新しい年度も始まり、桜も咲いて、なんだかワクワクしてくる季節になってきましたね。まさに新しいチャレンジや物事をスタートさせるのにピッタリなのではないでしょうか。やろうやろうと思っただけでもなかなか踏み込みなかったこと、皆様もありませんか？私があります。資格取得のための勉強です！やるなら今！今を逃すとずーっとたいそうない訳をせずとしなないだらうなあ、って、、、よし、今日は眠っていた教科書を引っ張り出すぞ！皆様もこの機会に是非！！

次号は2019年7月1日発行予定です。